新宿区立落合第三小学校

学校運営協議会便り

平成 26 年 12 月 1 日　　第 4 号

第 4 回運営協議会　次第

1. 学校長あいさつ
2. 地域協働学校の役割と組織図について
3. サポートチームの役割分担について
4. 地域協働学校運営協議会委員の方々の学校評価集計結果報告
5. 三学期の学校行事予定
6. 次回予定確認

学校長あいさつ

波多江先生は四谷第四小学校の発表のときに地域協働学校について説明をしてくださいました。「全ての出会いは豊かな学びにつながる」「出会いが新たな出会いを呼ぶ」「出会いは繰り返される」というようなお話や「新たな学びで地域を担う人材を育てる」というようなお話に感銘を受けたので、是非、うちの学校でも今度説明していただけたらと思っています。

地域の方々、保護者の方々には先日の音楽会に多数ご来校いただき、お聴きいただくことができました。子どもたちも一生懸命に頑張ることができたのではないかと思っています。何人かのお母さんが幼稚園児から 6 年生まで全部の学年の演奏を聴いたら、すごく発達段階が分かって良かったですと言ってくださいました。全部聴くのは大変でしょうが、前後やいくつかの学年を聴いていただくとそれぞれの発達段階がわかっていいのではないか、と思いました。

11/28 には 5 年生と一緒に八王子の滝山という里山に遠足へ行ってきました。「遠足も学校行事だけれど意味のある遠足がいいよね。」と 5 年生の担任と相談して総合の学習と絡めて、なにか学びがあるような遠足にしたいと思い、環境学習でお世話になっている谷村さんにお願いしました。当日は現地に 6 人のスタッフが待っていて下さり、里山の竹を切るところから始まり、枝をはらい（子どもたちは最初、枝が払えなかったのです。「枝をはらうって何？」と。）、その竹でお箸作りをし、午後からは山を歩き回りいろいろな実やきのこ、木の名前などを教えてもらい、拾った木の実でアート作品を作りました。行きには「なんで遊園地とかじゃないの？」と言っていた子たちが、帰りにはすごく穏やかで優しい顔つきになって「また来たい。」と言ったのが印象的でした。やはり、自然とかかわったりするということはとても大事だと感じ、学校行事も「かかわり」の大切さを考えていかなければならないと思いました。

運営協議会より

今回は前回ご紹介の組織図を参照に各活動をどのようにスタートさせたらいいのかを考えていきました。アドバイザーの方に他校での活動を紹介していただいき、現在の落三小や、これから落三小の子どもたちがどのように育って欲しいか、などいろいろな意見が出されました。それらの意見を受け、前回の組織図での分け方ではなく、学校教育で基本とされている「頭・心・体」の分け方で活動を考えていくのはどうか、という意見でまとまり、次回、新たな組織図を作成することとなりました。

まだまだ手探りではありますが、一歩ずつ進んでおります。地域・保護者・学校と皆で子どもたちをより良い環境で育めるよう、落三小ならではの組織を作っていきたいと思っております。

三学期の行事予定

●1/15～マラソンタイム：月曜～木曜 20 分休みの最後 3 分間に校庭を走ります。金曜は朝も走ります。
●1/20～書き初め展：各クラスの廊下に貼り出されます。1・2 年生は硬筆。3～6 年生は毛筆です。
●1/21・2/4・2/25 落三ギネス：体力向上を目的とし、20 分休みに様々な競技に挑戦します。
●1/23・1/24 展覧会：24 日には学校公開もあります。

※お時間がございましたら子どもたちの様子を覗いてみていただければと思います

第 4 回運営協議会参加者紹介（敬称略）

代　表	：	岡田　吉正	元 PTA 会長
副代表	：	川村　範昭	現 PTA 会長、
委　員	：	日下部　阿氣子	元落合第二地域センター管理運営委員会会長
		山口　春代	スクールコーディネーター
		西　はるみ	元 PTA 副会長
		大塚　弥生	PTA 会員
		遠藤　秀子	現 PTA 副会長
		服部　みどり	校長
司　会	：	紺野　俊彦	副校長
アドバイザー	：	**寺田　貴美子**	**教育支援課地域家庭教育係係長**
		波多江　誠	**教育委員会教育支援課指導主事**